



明化の教育

1月号 (第496号)
令和4年1月11日
文京区立明化小学校
校長 熊倉 勝

「子供が子供を育む」ことを大切に

校長 熊倉 勝



体育館入口に飾られた6年実行委員の作品。
感謝の気持ちが見事に表現されました。

令和4年がスタートしました。旧年中は、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとして、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。皆さまにとって本年が幸多き年となることを心からお祈りいたします。

さて、12月3日、4日に行いました展覧会には、延べ600名を超える保護者、地域の方々にご鑑賞いただきました。感謝の一言に尽きます。子供たちが思いを込めて作った個性溢れる作品が会場を彩り、一つ一つの作品が見事に調和し、一つの世界「明化アートワールド」を創り上げていました。子供たちの感性の豊かさに驚かされるばかりです。特に、6年生は、自分の作品制作だけでなく、実行委員として看板や装飾作りを行い、小学校生活最後、

さらには現在の体育館で最後の展覧会を大いに盛り上げました。「自分たちが主体になって展覧会を創り上げる」という心意気を確かに感じた人も多かったことと思います。また、放課後に親子で一緒に鑑賞し、子供たちが自分の作品について語っている姿もほのぼのとしていて、微笑ましかったです。

今回の展覧会では、子供たち同士の鑑賞にも力を入れました。1回は学年ごとに個人で鑑賞し、もう1回は低・中・高ごとに異学年グループを組んで交流しました。異学年での交流会では、グループの人たちと自分の作品の作り方や頑張ったところなどを伝え合いました。子供たちは、友達の作品のよさを認め合い、自分では思いつかなかったアイデアや表現に気付くことができたと感じます。「たった2日間で終わってしまうのがもったいない。」「高学年になったらこんな作品を作るんだ。」との声も子供たちから聞かれ、作品鑑賞を十分に楽しみ、意欲を高めていたようです。今後子供たちは、今回作品を見て感じたことや学んだことを図工の作品作りに活かしていくことに違いありません。

このように子供たちは、よいと思ったことや素晴らしいと感じたことを取り入れたり、それを目指したりして、自ら伸びようとするものです。このことは、子供同士でも同様です。“子供が子供を育む。”子供たちの主体性を伸ばし、確かな力を身に付けることができるように、学び会う機会を大切にしていきたいと考えます。

本年も教職員一同全力で子供たちの教育にあたってまいります。引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

〈校舎改築の予定について〉

校舎改築工事は、順調に進んでいます。現段階での予定は、次の通りです。

- Ⅰ期工事 (体育館、プール、給食室、こども園) 2023年 (令和5年) 7月竣工
…令和5年度2学期より新体育館、プール使用開始
- Ⅱ期工事 (小学校校舎) 2025年 (令和7年) 11月竣工
…令和7年度3学期より新校舎使用開始
- 仮設校舎解体・校庭整備工事後、2026年10月完成